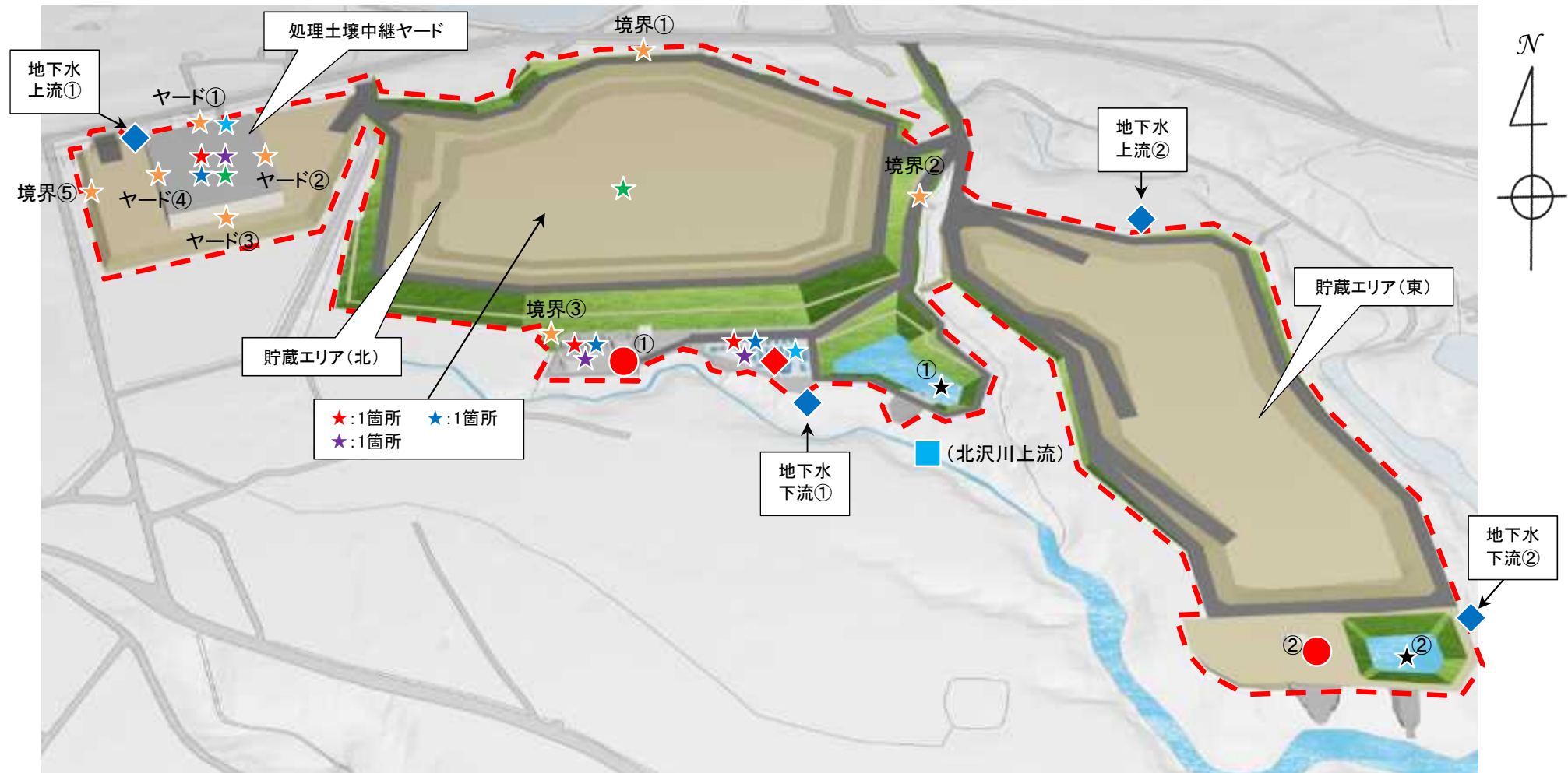


土壌貯蔵施設(大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定地点(月次測定)



☆:施設の位置

【 凡例 】

- ◆ : 地下水(井戸)中の電気伝導率等
- ★ : 沈砂池からの放流水の浮遊物質質量
- ★ : 空間線量率(作業環境)
- ★ : 表面汚染密度(設備)

- : 地下水(集排水設備)中の放射能濃度
- : 放流先河川の放射能濃度
- ★ : 空気中の放射能濃度
- ★ : 表面汚染密度(重機)

- ◆ : 浸出水処理施設放流水の放射能濃度等
- ★ : 粉じん濃度
- ★ : 表面汚染密度(貯蔵施設境界・壁)
- : 敷地境界線



土壌貯蔵施設(大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年3月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流①	2018/7/11	(稼働前)	240	8.1
	2020/3/5	(稼働後)	180	9.8
上流②	2020/2/24	(稼働前)	110	25
	2020/3/16	(稼働後)	83	14
下流①	2018/7/11	(稼働前)	32	9.5
	2020/3/5	(稼働後)	120	7.2
下流②	2020/2/24	(稼働前)	42	23
	2020/3/16	(稼働後)	45	22

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定地点	測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
集排水設備①	2018/7/11	(稼働前)	ND
	2020/3/17	(稼働後)	ND
集排水設備②	2020/3/5	(稼働前)	ND
	2020/3/17	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
測定日				
2020/3/5	6.9	1.8	23	8

pH基準：5.8～8.6, BOD基準：60mg/L, COD基準：90mg/L, SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2020/3/3 ～2020/3/31	63	0.2	4.1	ND	1947

濁度管理値：5以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定地点	測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
沈砂池①	2020/3/5		23
沈砂池②	2020/3/18		13

SS基準：60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/7/11	(稼働前)	ND	ND
2020/3/5	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2020/3/5 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
貯蔵エリア(北)	ND
浸出水調整設備	ND
浸出水処理設備	0.2
処理土壌中継ヤード	1.5

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2020/3/5 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア(北)	0.35
浸出水調整設備	0.29
浸出水処理設備	0.11
処理土壌中継ヤード	0.25

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/3/5 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
貯蔵エリア(北)	ND	ND
浸出水調整設備	ND	ND
浸出水処理設備	ND	ND
処理土壌中継ヤード	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点			2020/3/4 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
貯蔵施設境界	①		ND
	②		ND
	③		ND
	⑤		ND
浸出水処理施設	設備	汚泥脱水機	ND
処理土壌中継ヤード	壁	①	ND
		②	ND
		③	ND
		④	ND
	設備	ベルコン出口	ND
	重機	タイヤショベル①	ND
貯蔵エリア（北）	重機	タイヤショベル②	ND
		バックホウ①	ND
		ローラー①	ND
		ブルドーザー①	ND
		バックホウ②	ND
		ブルドーザー②	ND
		バックホウ③	ND
		バックホウ④	ND
	バックホウ⑤	ND	

表面汚染密度検出下限値：0.40 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

※貯蔵エリア(東)における粉じん濃度、空間線量率(作業環境)、空気中の放射能濃度、表面汚染密度の測定項目については、2020年4月から開始とする。

土壌貯蔵施設(大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年2月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2018/7/11 (稼働前)	240	8.1
	2020/2/12 (稼働後)	140	9.3
下流	2018/7/11 (稼働前)	32	9.5
	2020/2/12 (稼働後)	100	6.9

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/7/11 (稼働前)		ND
2020/2/18 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2020/2/12		7.7	1.4	15	4

pH基準：5.8～8.6, BOD基準：60mg/L, COD基準：90mg/L, SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2020/2/5 ～2020/2/26	35	0.0	1.2	ND	1088

濁度管理値：5以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2020/2/12		12

SS基準：60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/7/11 (稼働前)		ND	ND
2020/2/12 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

★粉じん濃度

測定地点	2020/2/12,13 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
貯蔵エリア	0.9
浸出水調整設備	ND
浸出水処理設備	ND
処理土壌中継ヤード	1.9

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2020/2/6 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア	0.53
浸出水調整設備	0.31
浸出水処理設備	0.11
処理土壌中継ヤード	0.23

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/2/6 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
貯蔵エリア	ND	ND
浸出水調整設備	ND	ND
浸出水処理設備	ND	ND
処理土壌中継ヤード	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134： 1.0×10^{-7} Bq/cm³、セシウム137： 1.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≤1

表面汚染密度(★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2020/2/19 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)
貯蔵施設境界	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
	⑤	ND
浸出水処理施設	設備	汚泥脱水機
処理土壌中継ヤード	壁	①
		②
		③
		④
	設備	バックホウ①
		ローラー①
		ブルドーザー①
		バックホウ②
貯蔵エリア	重機	ブルドーザー②
		バックホウ③
		バックホウ④
		ND
	設備	バックホウ①
		ローラー①
		ブルドーザー①
		バックホウ②

表面汚染密度検出下限値： 0.40 Bq/cm^2

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年1月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2018/7/11	(稼働前)	240	8.1
	2020/1/9	(稼働後)	140	9.5
下流	2018/7/11	(稼働前)	32	9.5
	2020/1/9	(稼働後)	100	6.7

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/7/11	(稼働前)	ND
2020/1/9	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2020/1/9		7	1	14	4

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度 最小値 最大値	放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
2020/1/16 ~2020/1/30	97	0.0 4.9	ND	2904

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定日	測定項目	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2020/1/8		34

SS基準: 60mg/L

浮遊物質(SS)の報告下限値: 1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/7/11	(稼働前)	ND	ND
2020/1/8	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2020/1/9 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
貯蔵エリア	ND
浸出水調整設備	ND
浸出水処理設備	ND
処理土壌中継ヤード	0.1

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2020/1/7 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア	0.25
浸出水調整設備	0.32
浸出水処理設備	0.12
処理土壌中継ヤード	0.28

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/1/7 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
貯蔵エリア	ND	ND
浸出水調整設備	ND	ND
浸出水処理設備	ND	ND
処理土壌中継ヤード	ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 1.0 × 10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137: 1.0 × 10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2020/1/23 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)
貯蔵施設境界	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
	⑤	ND
浸出水処理施設	設備	汚泥脱水機
処理土壌中継ヤード	壁	①
		②
		③
		④
		⑤
貯蔵エリア	設備	ベルトコン出口
		タイヤショベル①
		タイヤショベル②
		バックホウ①
	重機	ローラー①
		ブルドーザー①
		バックホウ②
		ブルドーザー②
処理土壌中継ヤード	重機	バックホウ③
		バックホウ④

表面汚染密度検出下限値: 0.40 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年12月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2018/7/11	(稼働前)	240	8.1
	2019/12/4	(稼働後)	160	9.3
下流	2018/7/11	(稼働前)	32	9.5
	2019/12/4	(稼働後)	98	6.5

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/7/11	(稼働前)	ND
2019/12/18	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/12/3		7.5	1	20	10

pH基準：5.8～8.6, BOD基準：60mg/L, COD基準：90mg/L, SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度 最小値 最大値	放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
2019/12/4 ～2019/12/13	45	0.0 4.0	ND	1358

濁度管理値：5.0以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/12/4		6

SS基準：60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/7/11	(稼働前)	ND	ND
2019/12/4	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

★粉じん濃度

測定地点	2019/12/4 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
貯蔵エリア	0.4
浸出水調整設備	ND
浸出水処理設備	0.1
処理土壌中継ヤード	1.7

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/12/4 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア	0.43
浸出水調整設備	0.33
浸出水処理設備	0.12
処理土壌中継ヤード	0.29

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/12/4 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
貯蔵エリア	ND	ND
浸出水調整設備	ND	ND
浸出水処理設備	ND	ND
処理土壌中継ヤード	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134： 1.0×10^{-7} Bq/cm³、セシウム137： 1.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≤1

表面汚染密度(★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/12/18 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
貯蔵施設境界	①	ND	
	②	ND	
	③	ND	
	④	ND	
	⑤	ND	
浸出水処理施設	設備	汚泥脱水機	ND
処理土壌中継ヤード	壁	①	ND
		②	ND
		③	ND
		④	ND
		⑤	ND
	設備	ベルコン出口	ND
	重機	タイヤショベル①	ND
		タイヤショベル②	ND
貯蔵エリア	重機	バックホウ①	ND
		ローラー①	ND
		ブルドーザー①	ND
		バックホウ②	ND
		ブルドーザー②	ND
		バックホウ③	ND
		バックホウ④	ND

表面汚染密度検出下限値： 0.40 Bq/cm^2

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年11月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2018/7/11	(稼働前)	240	8.1
	2019/11/14	(稼働後)	140	10
下流	2018/7/11	(稼働前)	32	9.5
	2019/11/14	(稼働後)	84	7.1

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/7/11	(稼働前)	ND
2019/11/12	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2019/11/14		7.5	1.2	18	8

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度 最小値 最大値	放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
2019/11/5 ~2019/11/19	29	0.2 4.4	ND	886

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定日	測定項目	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2019/11/14		10

SS基準: 60mg/L

浮遊物質(SS)の報告下限値: 1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/7/11	(稼働前)	ND	ND
2019/11/14	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2019/11/14 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
貯蔵エリア	0.2
浸出水調整設備	ND
浸出水処理設備	0.1
処理土壌中継ヤード	1.1

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/11/12 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア	0.54
浸出水調整設備	0.33
浸出水処理設備	0.13
処理土壌中継ヤード	0.30

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/11/12 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
貯蔵エリア	ND	ND
浸出水調整設備	ND	ND
浸出水処理設備	ND	ND
処理土壌中継ヤード	ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 1.0×10^{-7} Bq/cm³、セシウム137: 1.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/11/21 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
貯蔵施設境界	①	ND	
	②	ND	
	③	ND	
	④	ND	
	⑤	ND	
漫出水処理施設	設備	汚泥脱水機	ND
処理土壌中継ヤード	壁	①	ND
		②	ND
		③	ND
		④	ND
		⑤	ND
	設備	ベルコン出口	ND
	重機	タイヤショベル①	ND
		タイヤショベル②	ND
貯蔵エリア	重機	バックホウ①	ND
		ローラー①	ND
		ブルドーザー①	ND
		バックホウ②	ND
		ブルドーザー②	ND
		バックホウ③	ND
		バックホウ④	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.40 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年10月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2018/7/11	(稼働前)	240	8.1
	2019/10/3	(稼働後)	160	9.7
下流	2018/7/11	(稼働前)	32	9.5
	2019/10/3	(稼働後)	92	6.8

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/7/11	(稼働前)	ND
2019/10/23	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
測定日				
2019/10/2	7.9	1	22	3

pH基準：5.8～8.6, BOD基準：60mg/L, COD基準：90mg/L, SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2019/10/2 ～2019/10/31	501	0.0	4.9	ND	15099

濁度管理値：5.0以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/10/2		5

SS基準：60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/7/11	(稼働前)	ND	ND
2019/10/2	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2019/10/3 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
貯蔵エリア	1.6
浸出水調整設備	0.1
浸出水処理設備	0.2
処理土壌中継ヤード	1.0

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/10/5 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア	0.44
浸出水調整設備	0.34
浸出水処理設備	0.14
処理土壌中継ヤード	0.30

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/10/5 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
貯蔵エリア	ND	ND
浸出水調整設備	ND	ND
浸出水処理設備	ND	ND
処理土壌中継ヤード	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³, セシウム137：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/10/9 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)
貯蔵施設境界	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
	⑤	ND
浸出水処理施設	設備	汚泥脱水機
処理土壌中継ヤード	壁	①
		②
		③
		④
	設備	ベルコン出口
貯蔵エリア	重機	タイヤショベル①
		タイヤショベル②
		バックホウ①
		ローラー①
		ブルドーザー①
		バックホウ②
		ブルドーザー②
		バックホウ③
		バックホウ④

表面汚染密度検出下限値：0.40 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年9月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2018/7/11	(稼働前)	240	8.1
	2019/9/5	(稼働後)	210	9.0
下流	2018/7/11	(稼働前)	32	9.5
	2019/9/5	(稼働後)	86	6.8

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/7/11	(稼働前)	ND
2019/9/26	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2019/9/5		7.6	1.2	19	6

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD基準：90mg/L，SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
2019/9/3 ～2019/9/28	82	最小値	最大値	ND	2486
		0.0	4.7		

濁度管理値：5.0以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定日	測定項目	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2019/9/4		7

SS基準：60mg/L

浮遊物質(SS)の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/7/11	(稼働前)	ND	ND
2019/9/4	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2019/9/5 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
貯蔵エリア	1.0
浸出水調整設備	0.2
浸出水処理設備	0.3
処理土壌中継ヤード	3.8

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/9/2 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア	0.35
浸出水調整設備	0.34
浸出水処理設備	0.13
処理土壌中継ヤード	0.29

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/9/2 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
貯蔵エリア	ND	ND
浸出水調整設備	ND	ND
浸出水処理設備	ND	ND
処理土壌中継ヤード	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/9/12 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
貯蔵施設境界	①	ND	
	②	ND	
	③	ND	
	④	ND	
	⑤	ND	
浸出水処理施設	設備	汚泥脱水機	ND
処理土壌中継ヤード	壁	①	ND
		②	ND
		③	ND
		④	ND
	設備	ベルコン出口	ND
	重機	タイヤショベル①	ND
		タイヤショベル②	ND
貯蔵エリア	重機	バックホウ①	ND
		ローラー①	ND
		ブルドーザー①	ND
		バックホウ②	ND
		ブルドーザー②	ND
		バックホウ③	ND
		バックホウ④	ND

表面汚染密度検出下限値：0.40 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年8月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2018/7/11	(稼働前)	240	8.1
	2019/8/2	(稼働後)	220	9.1
下流	2018/7/11	(稼働前)	32	9.5
	2019/8/1	(稼働後)	81	7.4

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/7/11	(稼働前)	ND
2019/8/28	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2019/8/1		7.7	0.9	13	4

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD基準：90mg/L，SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度	放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
2019/8/1 ～2019/8/28	52	最小値 0.1 最大値 4.9	ND	1599

濁度管理値：5.0以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値（6.5Bq/L）未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定日	測定項目	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2019/8/1		43

SS基準：60mg/L

浮遊物質（SS）の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/7/11	(稼働前)	ND	ND
2019/8/1	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度／60＋セシウム137の濃度／90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2019/8/1 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
貯蔵エリア	0.3
浸出水調整設備	0.2
浸出水処理設備	0.3
処理土壌中継ヤード	1.9

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/8/1 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア	0.37
浸出水調整設備	0.34
浸出水処理設備	0.12
処理土壌中継ヤード	0.30

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/8/1 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
貯蔵エリア	ND
浸出水調整設備	ND
浸出水処理設備	ND
処理土壌中継ヤード	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度／2×10⁻³＋セシウム137の濃度／3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/8/6 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
貯蔵施設境界	①	ND	
	②	ND	
	③	ND	
	④	ND	
	⑤	ND	
浸出水処理施設	設備	汚泥脱水機	ND
処理土壌中継ヤード	壁	①	ND
		②	ND
		③	ND
		④	ND
	設備	ベルコン出口	ND
	重機	タイヤショベル①	ND
タイヤショベル②		ND	
貯蔵エリア	重機	バックホウ①	ND
		ローラー①	ND
		ブルドーザー①	ND
		バックホウ②	ND
		ブルドーザー②	ND
		バックホウ③	ND
		バックホウ④	ND

表面汚染密度検出下限値：0.40 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年7月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2018/7/11	(稼働前)	240	8.1
	2019/7/2	(稼働後)	253	9.8
下流	2018/7/11	(稼働前)	32	9.5
	2019/7/2	(稼働後)	98	6.6

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/7/11	(稼働前)	ND
2019/7/17	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/7/2		7.5	1.2	11	4

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD基準：90mg/L，SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度 最小値	濁度 最大値	放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
2019/7/1 ～2019/7/30	209	0.0	4.6	ND	6284

濁度管理値：5.0以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値（6.5Bq/L）未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/7/2		4

SS基準：60mg/L

浮遊物質量（SS）の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/7/11	(稼働前)	ND	ND
2019/7/2	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度／60＋セシウム137の濃度／90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2019/7/2 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
貯蔵エリア	0.2
浸出水調整設備	0.2
浸出水処理設備	0.2
処理土壌中継ヤード	0.7

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/7/3 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア	0.29
浸出水調整設備	0.36
浸出水処理設備	0.12
処理土壌中継ヤード	0.31

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/7/3 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
貯蔵エリア	ND
浸出水調整設備	ND
浸出水処理設備	ND
処理土壌中継ヤード	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度／2×10⁻³＋セシウム137の濃度／3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/7/11 (稼働後)	
		表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
貯蔵施設境界	①	ND	
	②	ND	
	③	ND	
	⑤	ND	
浸出水処理施設	設備	汚泥脱水機	ND
処理土壌中継ヤード	壁	①	ND
		②	ND
		③	ND
		④	ND
	設備	ベルコン出口	ND
	重機	タイヤショベル①	ND
		タイヤショベル②	ND
		バックホウ	ND
貯蔵エリア	重機	バックホウ①	ND
		ローラー①	ND
		ブルドーザー①	ND
		バックホウ②	ND
		ブルドーザー②	ND
		バックホウ③	ND
		バックホウ④	ND

表面汚染密度検出下限値：0.40 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(第2期大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年6月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2018/7/11 (稼働前)	240	8.1
	2019/6/5 (稼働後)	144	10
下流	2018/7/11 (稼働前)	32	9.5
	2019/6/5 (稼働後)	82	6.4

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	放射能濃度 (Bq/L)
2018/7/11 (稼働前)	ND
2019/6/15 (稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
測定日				
2019/6/4	7	1.2	11	3

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD基準：90mg/L，SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2019/6/6 ～2019/6/28	136	0.0	4.4	ND	4082

濁度管理値：5.0以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
測定日	
2019/6/4	2

SS基準：60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/7/11 (稼働前)		ND	ND
2019/6/4 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2019/6/5 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
貯蔵エリア	0.8
浸出水調整設備	0.2
浸出水処理設備	0.2
処理土壌中継ヤード	1.5

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/6/1 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア	0.29
浸出水調整設備	0.38
浸出水処理設備	0.14
処理土壌中継ヤード	0.34

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/6/1 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
貯蔵エリア	ND
浸出水調整設備	ND
浸出水処理設備	ND
処理土壌中継ヤード	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：5.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/6/13 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
貯蔵施設境界	①	ND	
	②	ND	
	③	ND	
	⑤	ND	
浸出水処理施設	設備	汚泥脱水機	ND
処理土壌中継ヤード	壁	①	ND
		②	ND
		③	ND
		④	ND
	設備	ベルコン出口	ND
	重機	タイヤショベル①	ND
タイヤショベル②		ND	
バックホウ		ND	
貯蔵エリア	重機	ローラー①	ND
		ブルドーザー①	ND
		バックホウ②	ND
		ブルドーザー②	ND
		バックホウ③	ND
		バックホウ④	ND

表面汚染密度検出下限値：0.40 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(第2期大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年5月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目 測定日	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2018/7/11 (稼働前)	240	8.1
	2019/5/9 (稼働後)	190	9.9
下流	2018/7/11 (稼働前)	32	9.5
	2019/5/9 (稼働後)	84	6.5

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定項目 測定日	放射能濃度 (Bq/L)
2018/7/11 (稼働前)	ND
2019/5/15 (稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定項目 測定日	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2019/5/9	7.3	4.3	15	4

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD基準：90mg/L，SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2019/5/7 ～2019/5/30	102	0.1	4.7	ND	3038

濁度管理値：5.0以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定項目 測定日	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2019/5/8	9

SS基準：60mg/L

浮遊物質(SS)の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定項目 測定日	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/7/11 (稼働前)	ND	ND
2019/5/8 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2019/5/9 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
貯蔵エリア	0.4
浸出水調整設備	0.2
浸出水処理設備	0.2
処理土壌中継ヤード	0.7

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/5/7 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア	0.41
浸出水調整設備	0.39
浸出水処理設備	0.14
処理土壌中継ヤード	0.35

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/5/7 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
貯蔵エリア	ND
浸出水調整設備	ND
浸出水処理設備	ND
処理土壌中継ヤード	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：5.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/5/13 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
貯蔵施設境界	①	ND	
	②	ND	
	③	ND	
	⑤	ND	
浸出水処理施設	設備	汚泥脱水機	ND
処理土壌中継ヤード	壁	①	ND
		②	ND
		③	ND
		④	ND
	設備	ベルコン出口	ND
	重機	タイヤショベル①	ND
タイヤショベル②		ND	
バックホウ		ND	
貯蔵エリア	重機	ローラー①	ND
		ブルドーザー①	ND
		バックホウ②	ND
		ブルドーザー②	ND
		バックホウ③	ND
		バックホウ④	ND

表面汚染密度検出下限値：0.40 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(第2期大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年4月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2018/7/11	(稼働前)	240	8.1
	2019/4/4	(稼働後)	85	8.2
下流	2018/7/11	(稼働前)	32	9.5
	2019/4/4	(稼働後)	62	8.3

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/7/11	(稼働前)	ND
2019/4/25	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/4/3		8	2.4	12	7

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD基準：90mg/L，SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度 最小値 最大値	放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
2019/4/6 ～2019/4/26	28	0.2 4.5	ND	835

濁度管理値：5.0以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/4/4		4

SS基準：60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/7/11	(稼働前)	ND	ND
2019/4/4	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2019/4/4 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
貯蔵エリア	0.3
浸出水調整設備	ND
浸出水処理設備	ND
処理土壌中継ヤード	0.6

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/4/2 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア	0.39
浸出水調整設備	0.38
浸出水処理設備	0.14
処理土壌中継ヤード	0.37

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/4/2 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
貯蔵エリア	ND
浸出水調整設備	ND
浸出水処理設備	ND
処理土壌中継ヤード	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134： 5.0×10^{-7} Bq/cm³、セシウム137： 5.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点			2019/4/4 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
貯蔵施設境界		①	ND
		②	ND
		③	ND
		④	ND
		⑤	ND
浸出水処理施設	設備	汚泥脱水機	ND
処理土壌中継ヤード	壁	①	ND
		②	ND
		③	ND
		④	ND
	設備	ベルコン出口	ND
	重機	タイヤショベル①	ND
		タイヤショベル②	ND
		バックホウ	ND
貯蔵エリア	重機	ローラー①	ND
		ブルドーザー①	ND
		バックホウ②	ND
		バックホウ④	ND

表面汚染密度検出下限値： 0.40 Bq/cm^2

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²